



元気、
美味しい、
暮らしやすい
ENERGY OF PEACE
ひろしま

資 料 提 供

令和8年10月20日

課 名：自動車・新産業課

担当者：出射

内 線：3361

電 話：082-513-3360

「第1回広島県造船関連産業クラスター連携推進会議」の開催について

県内の造船関連産業の競争力強化に向けて、造船事業者や船用事業者、協力事業者、国等のステークホルダーとともに、サプライチェーン全体の幅広い課題の把握や目指すべき方向性等について議論できる場（プラットフォーム）を設置し、次のとおり第1回会議を開催します。

なお、会議は下記「会議次第」の「2 開会挨拶」までを公開とし、閉会後に、県において囲み取材に対応いたします。別紙「取材申込書」参照。

記

日 時	令和8年10月22日（木）14：00～16：00
場 所	広島県庁北館2階 第1会議室（広島市中区基町10-52） ※対面とオンライン（Zoom）の併用開催（ハイブリッド形式）
出席予定者 （構成機関）	〔造船事業者〕 今治造船(株)、尾道造船(株)、(株)三和ドック、ジャパン マリンユナイテッド(株)、 常石造船(株)、内海造船(株)、向島ドック(株) 〔船用事業者〕 (株)アイメックス、(株)京泉工業、(株)シンコー 〔造船協力事業者〕 因島鉄工業団地協同組合、協同組合JMU呉協力会 〔金融機関〕 (株)広島銀行 〔国〕 中国経済産業局、中国運輸局 〔広島県〕 吉松副知事、掛川産業政策審議官、出射自動車・新産業課長
会議次第	1 開会 2 開会挨拶（吉松副知事） 3 国の「次世代船舶 戦略産業クラスター計画（瀬戸内地域）」の概要説明 （中国経済産業局） 4 国の概算要求の概要説明（中国経済産業局、中国運輸局） 5 県の補正事業「造船クラスター形成支援事業」の概要説明（広島県） 6 意見交換 7 閉会 ※閉会後に県による囲み取材を予定しています。

【開催趣旨】

全国有数の集積を誇る本県造船関連産業においては、人材不足や設備の老朽化、脱炭素化への対応に加え、エネルギーや資材価格の高騰など、多くの経営課題を抱えています。

国の「造船業再生ロードマップ」による船舶建造量倍増目標（2035年：1,800万総トン）の達成に向け、本年7月に国が策定した「次世代船舶 戦略産業クラスター計画（瀬戸内地域）」に呼応し、県においても、国や産業界等と連携して、サプライチェーン全体の高付加価値化や高い生産性を有する造船産業クラスターの実現を目指していく必要があります。

このため、関係者が一堂に会する協議の場（プラットフォーム）を県主導で立ち上げ、サプライチェーン全体の構造的課題を共有するとともに、各種支援制度の活用に向けた伴走支援や、国の制度で手の届かない領域における県独自の支援策の検討につなげ、将来の建造能力拡大に対応できる強固な産業基盤の確立を目指します。

(別紙)

第1回広島県造船関連産業クラスター連携推進会議 取材申込書

取材を希望される場合は、必要事項をご記入の上、電子メールによりご提出ください。

■ 提出期限

令和8年10月21日(水) 12時

■ 提出先

広島県商工労働局自動車・新産業課

メール: syojidou@pref.hiroshima.lg.jp

貴社名	
担当者名	
参加人数 (担当者含む)	名
カメラの有無	有 (ムービー ・ スチール) ・ 無 ※いずれかに○をお付けください。
当日の連絡先電話番号	

※ご記入いただいた個人情報は本取材の受付・連絡事務のみに使用します。

<連絡先・問合せ先>

広島県商工労働局自動車・新産業課 (担当: 越智、栗栖、日山)

電話: 082-513-3360 (ダイヤルイン)

メール: syojidou@pref.hiroshima.lg.jp